

二元代表制の本旨に則った議会对応及び円滑な市政運営を求める決議

令和7年6月29日に出口嘉一市長が就任して以来、本市の行政運営は決して円滑とは言えない状況が続いている。

市長が市長選挙期間中に行った発信に端を発しては、現状において、三浦市の福祉行政や災害発生時に市民を支えるための体制づくりに懸案事項が生じている。

また、教育行政に関しては、市長部局と教育委員会が連携して、本市の教育環境を整えるための議論を交わす総合教育会議において、市長は個人としての持論を展開し、出席者の自由な発言を妨げるなど、会議の主催者として適切とは言えない運営を行ったことが明らかとなった。

市議会に対しては、再三行った答弁を、後日、記憶が定かではなかったと訂正し、議会のルールにのっとらない発言を繰り返すなど、二元代表制の一翼として市民の負託を受けている議会に対し、誠実さを欠き、議会軽視とも言える対応が見受けられる。また、市長就任前だけではなく市長就任後においても市長としての資質を問われかねない発信を行い、その結果、議会日程の停滞を招くなど、自治体の長としての自覚を著しく欠いていると言わざるを得ない。

よって、出口嘉一市長におかれては、みずからの言動を猛省し、今後の市政運営に混乱や停滞を招くことのないよう強く求める。

なお、市議会としても、三浦市政が円滑に運営されるよう、今後もなお一層、厳しく行政の監視機能としての役割を果たしていくことを表明するものである。以上、決議する。

令和8年3月24日

三浦市議会